

# 都市再生整備計画 事後評価シート

多賀地区



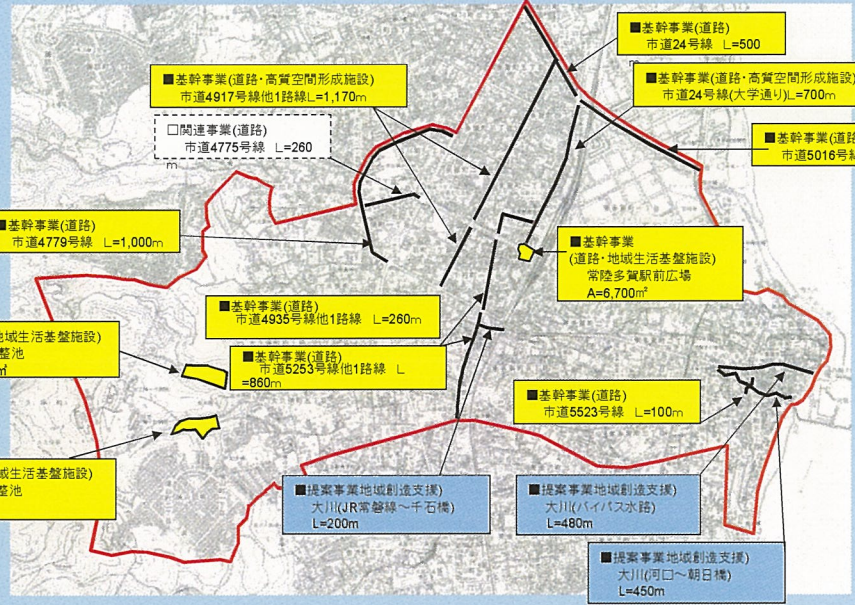


平成28年3月

茨城県日立市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	日立市		地区名	多賀地区			面積	486ha			
交付期間	平成21年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	1,629百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路:常陸多賀駅前広場、市道4917号線他1路線、市道5016号線、市道4779号線、市道4775号線、市道24号線、市道4935号線他1路線、市道5255号線、市道5523号線、市道5541号線 地域生活基盤施設:善隣第1調整池、支線大川調整池 高質空間形成施設:市道24号線(大学通り)、市道4917号線他1路線											
		提案事業	地域創造支援事業:大川(JR常磐線～千石橋)、大川(河口～朝日橋)、大川(バイパス水路)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路:市道4775号線、市道5255号線、市道5541号線		削除/追加の理由			計画見直しの結果、本計画での事業実施を見送ることとなったため。						
		提案事業	-		-			-						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路:市道24号線(大学通り)、市道5253号線他1路線 地域生活基盤施設:常陸多賀駅前広場		削除/追加の理由			車両交通の円滑化を図るため事業を追加した。						
提案事業		-		-			-							
交付期間の変更	当初	H21年度～H25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし							
変更	H21年度～H27年度													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	指標1	市道24号線の渋滞長	m	150	H20	75	H27	モニタリング	評価値	75	○	あり	これまで、通過交通や公共交通が錯綜していたが、目的別に明確に区分するとともに、ロータリーによる交差点処理には「ラウンドアバウト方式」の通行方法を採用したことによって、市道24号線から駅前広場への渋滞を改善することができた。	-
	指標2	歩道のバリアフリー化	施設	1	H20	9	H27	9	○	あり	歩道は、だれでも安全で快適な歩行での移動が可能となるように、段差解消や視覚障害者用の誘導ブロックの設置、舗装の色彩、材質、グリーンラインにより車道部分との区分を明確にしたバリアフリー化の整備を進めたことで、特定旅客施設(駅)から主要な施設までの安全で、円滑な移動が可能となった。	-		
	指標3	水害の抑制	戸	50	H20	0	H27	25	△	あり	支線大川調整池の整備については、用地交渉が難航したことに伴い未整備であるが、大川改修工事などにより一定の雨量をスムーズに排水できることで水害を抑制することができた。	-		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>常陸多賀駅前広場の再整備によって、駅周辺の交通結節点としての機能強化が図られた。</li> <li>駅から主要な施設までのバリアフリー化が実現されたことで、人にとりやすく誰もが住みやすい地区となった。また、商店街への移動もスムーズになり、回遊性が向上した。</li> <li>大川の河川整備によって、水害被害の抑制につながり安全にらせる地区となった。</li> <li>明るく開放的な駅前広場に再整備されたことで、まちの顔としての魅力を高めた。</li> </ul>													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									-		
	住民参加プロセス	再整備を進めるにあたり、市民や学識経験者で構成された検討委員会を設置するとともに、駅利用者などへのアンケート調査を実施することで、意見集約を図った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● 住民参加の検討委員会の意見をもとに、日立らしさを活かした駅周辺施設の整備、統一されたまちなみ形成により、良好なまちづくりを推進する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									-		

## 様式2-2 地区の概要

多賀地区(茨城県日立市) 都市再生整備計画の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標 安全・快適なまちづくりの推進 目標1 車両交通の円滑化 目標2 快適な歩行空間の整備 目標3 水害の抑制	市道24号の渋滞長	単位:m	150 H20	75 H27	75 H27
	歩道のバリアフリー化	単位:施設	1 H20	9 H27	9 H27
	水害の抑制	単位:戸	50 H20	0 H27	25 H27
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;">   </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 25%;">   </div> </div>					
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節点である常陸多賀駅前広場の再整備に伴い、バスやタクシーなどの交通整理ができ一般車両の交通も増加しているが、渋滞することなくスムーズな交通を確保できている。また、駅前広場の再整備により地域イベント等で利用できるようになったことで、にぎわい空間を創出することができた。</li> <li>常陸多賀駅周辺の歩道の段差解消、誘導ブロックの設置、信号機などの交通安全施設をバリアフリー化したことで、高齢者や妊婦、障がい者など円滑な移動を実現している。</li> <li>数値目標には達しなかったが、大川改修工事により水害を受ける住宅が減少した。</li> </ul>				
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主たる基礎整備(ハード)はほぼ達成されたので、今後の効果の持続は活用方策(ソフト)の問題となる。さらなる賑わいをもたらすためのソフト的な取り組みは、地域の商店街や地域住民が主役になって推進し、行政は後方支援を行う。</li> <li>日立らしさを活かしたまちなみ景観の形成、自動車の利便性と歩行者の回遊性を高めた、魅力ある駅周辺整備を推進する。</li> </ul>				